

動学ゲームにおける均衡選択と、その談合、カルテルへの応用

国際商経学部 磯貝 茂樹

キーワード 動学ゲーム、カルテル、談合、均衡選択**研究概要**

時間を通じて起こる戦略的関係(動学ゲーム)の理論研究と、その現実への応用について研究しております。特に、ゲーム理論において「起こり得る帰結」と解釈される解概念/均衡概念の予測が現実に起こる現象と異なるときに、それをどのように解釈し解概念の改善につなげていくかを、その社会現象の参加者の視点から分析することに興味を持って研究しております。例えば最近では談合が起こる際の企業間のコミュニケーションやそれによる合意の有無が談合の成功にどこまで関わってくるのか、また談合の中で裏切りが生じたときにその中の企業がどのように反応するのかについてより精密な予測ができないかを、企業の互いに対する予想の観点から分析しています。

アピールポイント

談合の行動パターンや弱点を明らかにすることで市場が正常に働くための法整備について提言することが可能です。これにより本来市場が消費者や顧客企業にもたらすはずだった余剰を談合に奪われてしまうことを防ぐことができます。また理論の抽象性のおかげで他の類似した問題の分析にも活用可能です。例えば国際関係における抑止力の効果や集団での法規違反への対処など、様々な応用が考えられます。

応用分野

談合の経済分析、国際関係における抑止力の効果、その他ゲーム理論が応用される様々な現象の分析
